

平成二十年
度
修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

安部 智美 近世末期における村役人の身分

的周縁 — 大庄屋の葬祭史料の

分析を通じて —

伊藤 俊介 漢代における諸公と任侠的習俗

について

韓 紅梅 宋の対遼、西夏の外交

佐藤 俊幸 隋代・唐初における南朝系人士

の官界進出に関する考察

村瀬 達郎 柳川一件の再検討 — 柳川氏の

存在と一件の経過を素材とし

て —

〈文化財学専攻〉

青木 伸介 豊前宇佐地域における在地首長

の発展と展開 — 赤塚古墳を中

心とし —

王 海静 日中古絵画に見る美女イメージ

の再考察 — 日中美術史・文化

史の視点からの考察 —

緒方 孝浩 大野川上中流域の弥生集落の発

展と展開について

小野 目依 東アジアにおける宝相華文様を

中心とした植物文様について

嘉村 哲也 甕棺墓にみる地域性とその背景

坂本 翼 律令時代における地方官衙の研

究 — 東九州を中心として —

西田 京平 歴史時代における金属材料の産

地推定

橋本 清美 墳墓構造から見る特定集団生成

のプロセスについて

宮崎 英華 保養型温泉地における高度経済

成長期とそれ以降の地域変容

— 鉄輪温泉を事例として —

村子 晴奈 西北九州における弥生墳墓の構

成とその葬制に関する研究

本村 浩二 九州島における縄文時代草創期

狩猟具の系統的研究

安田 豊 古代・中世における神社と塩崎

史学科

〈日本史専攻〉

赤星 賀英 武田信玄の生涯

麻生 智樹 織田信長の生涯について

有富 哲矢 戦国期における「村の城」につ

いて

有水 裕人 日向国伊東氏の存在形態 — 伊藤

義祐と島津義弘による木崎原の

戦い —

石原 涉 大分市内の磨崖仏について

— 高瀬磨崖仏を中心に —

今熊紗矢香 国東六郷満山の仏教文化

今村 勇貴 日本仏教の密教化について

鶴殿 慎也 後北条氏の領国支配について

榎木 若菜 中世絵画史料にみる貴族住宅

梅本 枝里 大分における米騒動 別府町を

中心に

浦川比都美 秀吉の朝鮮出兵

永福 剛 島津義弘がもたらした功績と島

津家の活躍について

江口 友貴 境目の城における認識と管理維

持機能について

江田 達哉 松方財政の分析と立場からの状

況

大野 圭太 日中戦争 — 中国側からに視点

をおいて —

小川 修平 東京裁判の一考察

沖田 敬佑 宮崎県における空襲と復興

金重 貴大 皇民化教育と教育二関スル勅語

瀧岡 幸憲 太平洋戦争末期の神風特別攻撃

- 河口 健一 緒方洪庵研究 — その評価と精神 —
- 川村 希 鉄砲について
- 木下 慧 八幡製鉄所の研究
- 黒田 潤 別府の発達と油屋熊八について
- 兒玉 大祈 現代と昭和前期における愛国心の比較と影響
- 小橋 佑太 高杉晋作と奇兵隊
- 堺 光介 浦上四番崩れ — 浦上キリシタンの流配について —
- 坂口千恵子 日本中世の絵巻物における烏帽子について
- 首藤 博紀 戦国大名大友氏の対外関係について
- 梶山 翼 徳川家康と四天王の活躍
- 砂永 由香 造士館の変遷 — 各時代での存在意義 —
- 高橋 洵也 築城と地域の発展についての考察
- 田口 芙季 中世後期畿内における在地の有力者層と地域社会
- 地福 葉子 浅井茶々 — 淀君 — の立場について
- 槻木 慶子 関ヶ原合戦
- 佃 拓也 吉田松陰の松下村塾における教育
- 堤 将太 島原天草一揆における認識問題について
- 梶原 康祐 南北朝時代における菊池氏
- 豊満 美也 正保城絵図に関する一考察
- 中園 憲右 『征西將軍宮懐良』と『日本國王良懷』 — 村井章介「九州國家」説を中心に —
- 西山 俊逸 鍋島直茂と佐賀城について
- 橋本 潤 信長の軍団と戦略・戦術
- 長谷川朋子 安土城に見る織田信長
- 林 敏容 後藤新平と台湾の近代化 (二八九八〜一九〇六年)
- 原 洋輔 弘化・嘉永期の長崎警備
- 平原 孝晃 戦時下の国民生活 — 開国以降の衣食の西洋化 —
- 服平佳奈子 豊後大友氏領内におけるキリシタン
- 藤井 青道 織田信長の生涯
- 藤岡 英樹 室町幕府の成立についての考察
- 前川 安紀 加藤清正の干拓事業について
- 前中 俊二 田澤義鋪の研究
- 松尾美和子 北条政子 権力と女性
- 松永 征悟 石原莞爾と満州事変
- 松永 智之 関ヶ原の合戦について
- 蓑田 大輔 近代日本の鉄道構想
- 三宅 利幸 日本敗北への「シナリオ」
- 村上 智哉 太平洋戦争時の宮崎県
- 妻鳥 昇平 南京事件と戦争犯罪
- 本村 是昌 二二六事件と真崎甚三郎
- 森本 麻美 「毛利輝元」 — 山口県の礎を築いた男 —
- 矢田 雄一 水野勝成と福山の成り立ちについて
- 横尾 啓太 関ヶ原の戦い
- 吉田 果奈 宮部鼎蔵と肥後勤皇党 鼎蔵の活動を中心に
- 和田 健志 豊臣政権と加藤清正
- 渡邊 真実 市町村合併についての考察
- 井元 秀伴 インドの神々とインドに暮らす人々の生活
- 榎田佳穂里 南朝・梁における仏教と政治
- 川井 香奈 前漢昭帝、宣帝期の権力者について
- 黒岩 由貴 楊貴妃 — 玄宗に愛された女性 —
- 下野 章吾 隋と高句麗

須藤 雄太 劉備政権とその家臣団

田中 裕之 唐代の都護府について

中棚 美空 香辛料の歴史

島田 美和 マタラム王国 王朝史

福永 啓介 前漢抗争と劉邦家臣団の分析

松本 知佳 後漢の宦官について ―特に政治的動向に着目して―

宮家 遼 孫呉政権の成立と家臣集団について

山蔭 大 イスラーム教と現代社会

山下 諒子 古代中国の王朝儀礼について

渡成 周立 『三國志』と『三國志演義』における曹操像の比較研究

〈西洋史専攻〉

穴井 佑樹 国王ルイ十六世一家とフランス革命 ―ベルサイユ行進から国王処刑まで―

池田 遼一 ロムルスによるローマ建国について

伊東 希穂 ヴァイキング時代の北欧における社会と生活

上田 愛佳 ローマ五賢帝時代の社会と戦争 (ハドリアヌス、アントニヌス・ピウス、マルクス・アウレリウス)

上野 貴郁 ローマ時代の剣闘士グラディアトルについて

久保 順也 ルネサンス期におけるフィレンツェのパトロン ―メディチ家の栄光と衰退―

小平梯二郎 カストロのキューバ革命

坂元 玲央 百年戦争の政治史的、軍事的動向

佐藤みどり ジャンヌ・ダルクの復権

早田 純 ノルマン人と中世シチリア王国

竹下 卓 五賢帝時代における政治動向

田崎 愛望 イギリスの発展を中心に見るアヘン戦争勝利までの流れ

辻野 優子 マリア・テレジアについて

橋本 直樹 アーサー王物語に見るケルト的文化およびローマ的文化

樋口 健太 最後のツァーリ ニコライ二世

淵上 良明 ナチス・ドイツの「安楽死」計画

古川奈緒子 コーヒー・紅茶の歴史と意義の変遷

星野 雄哉 古代ローマ時代の経済活動について ―主に陶器の分布とその背景―

前田 保将 ドイツ宗教改革とその影響について

三代 美雪 魔女狩りについて

横山 茂洋 地中海世界の覇権を巡って ―ポエニ戦争の考察―

四倉 武士 ヒトラーのカリスマ性について

〈世界文化史専攻〉

糸山 隆志 土器図像解釈から見るマヤ王権

江田 和彦 旧約聖書の著者

大津 一恵 チチエン・イツアの文化は独自のものなのか、それともトゥーラの影響を受けた文化なのか

福田 珠梨 『グリム童話集』とメルヘンの中の魔女

本田 真弓 マヤ人の他界観 ―パカル王石棺の事例から―

養毛 光 戦後日本の平和と絶対平和主義

本山 万里 アメリカ映画の大統領像

柳 まゆみ イツァー族とチチエン・イツァーにおける統合について

矢野沙代子 建造物から見るチチエン・イツァーとトゥーラの関係性

山下 悠介 マヤの時間観念

吉本 紗巴 古典期マヤの諸文明における王権

文化財学科

〈考古学・埋蔵文化財専修〉

- 赤塚 恵介 薩摩国文寺について
- 芥川 太朗 九州における前・中期の前方後円墳に見る伝統的葬法
- 池田 卓磨 商代青銅器の銅同位体比測定
- 泉 誠五 劣化度の異なる出土水浸木材の含浸量と含浸速度の相関関係について
- 上村 宗平 宮崎県における縄文早期土器文化
- 江口孝太郎 アフガニスタンから出土した青銅製品の産地推定
- 岡田 恵大 大淀川流域における古墳の成立と展開 — 生目古墳を中心に —
- 甲斐 弘准 東九州地域における縄文時代中期の土器
- 加藤 智寛 平戸オランダ商館から見る歴史と文化
- 川野 誠也 死者に込める思い — 地下式横穴墓の謎 —
- 金 大珍 韓国の前方後円墳と円筒形土器の性格
- 桑村 有加 九州草創期における遺跡の考察 — 変遷と特徴 —

後藤 虎南 九州縄文時代の農耕について

- 榮 美友希 球磨・人吉盆地における古墳文化の様相について
- 相良 有香 鹿児島県における苦浜式土器の型式設定と編年位置づけ
- 鏑嶋 孝史 豊後海部の首長たち — 亀塚を中心として —
- 澤奥 彩 宗像地域における古墳文化の様相について
- 政 悠介 鉄製造物の樹脂塗布による防錆効果について
- 友廣 美和 出土金属製品の保存修復 — 鉄製品の錆に着目して —
- 豊崎 晃史 中九州における青銅器の研究
- 青銅器の分布 — 出土パターン — 形式について
- 中原 絵理 含水率と初期含浸濃度との関係
- 奈良 和泰 黄泉国と考古学
- 西田 茂 山口県下の前方後円墳に関する基礎的検討
- 西永 賢太 豊前石塚山古墳とヤマト政権
- 浜田加奈子 終末期古墳から見た古墳の終焉
- 森口 真耶 福岡県・京都平野の古墳時代の様相 — 前方後円墳の変遷 —
- 山口 将史 カンボジア王国出土の青銅製品

に関する自然科学的調査

- 山口 祐樹 日本の伝統建築の保存と修復 — 西岡第一に学ぶ技とココロ —
- 山崎 麻衣 富貴寺大堂羽目板の顔料
- 山崎悠郁子 北部九州の古代寺院と地域性 — 百済系瓦を中心として —
- 山崎由里瑛 長崎県の原城から出土した鉛玉の鉛同位体比
- 〈環境歴史学・民俗学専修〉
- 赤嶺 桂子 沖縄染織研究 — 琉球絣について —
- 麻生 未奈 杖と棒の歴史民俗学
- 石田 祥子 宮崎県の郷土料理
- 内神 雅志 学校の怪談
- 大嶋 理恵 雨乞い生活の変化 — 宇土の雨乞い大太鼓を中心に —
- 加鏑 智子 屋敷の環境歴史学
- 金石 純一 ギャンブルのある社会 我が国におけるカジノ導入の可能性
- 上山 乃子 近世肥後の商人日記をよむ — 特に年行司「松嘶子」の史料集成作業を中心に —
- 川上慎太郎 沖縄の墓の移り変わり、そこに宿る精神の変化

河村 麻美 近世における長崎情報の研究

―長崎遊学者の動向を中心として―

金 偉 中国の春節と日本の新生における習俗の比較

敬 柵鑫 中国武漢市の近代発展と姉妹都市 ―大分市の友好往来について―

後藤 文典 御嶽流吉田神楽とその地域の人々との関わり

佐藤 吉純 心象と文化論

篠田 大樹 日記神話にみる古代日本人の死生観 ―他神話と比較して―

下柵 珠菜 日本ガラス工芸史の研究 ―薩摩切子の事例―

白川 結子 長崎県の菓子文化

末富 真一 一村一品運動の動向

杉山 賢輔 ヨーロッパの風土に見る神話世界 ―ギリシア、ケルト、ゲルマン神話における風土論的考察―

瀬田 明子 郷土料理の環境歴史学

世良 祐也 安倍晴明 ―再生され続けている異能者―

田島 史也 餌木の変遷 ―イカ釣り漁具の

民俗―

田中 尚徳 狛犬の話 東大阪市の狛犬調査を例にして

玉城 貴利 ノロとユタ ―沖縄の信仰―

張 天宇 魂の道 ―「道教」から不老不死をめざす、仙道を得られる世界―

仲摩 強 近畿地方に見られるイエ・ムラ制度について

中村奈緒美 近代における観光資源の構築と展開について ―人吉温泉の成立と変遷を中心に―

中村 麗奈 ゲストハウスの特性と動向

飛田 希 石田三成論 ―かつての天下人の下で振るわれた政治手腕―

福丸 愛花 異類婚姻譚

堀 智哉 八幡鶴市神社の花傘鉾神事を読む

前田 茂洋 面浮立について ―鹿島市を中心に―

三浦 和浩 日田祇園について

三浦 忠朗 温泉にまつわる信仰 ―信仰と地域の人の関り―

安里 駿 琉球王国のグスク及びその関連遺産群

横田 正則 新居浜市の別子銅山について

―主として江戸時代の別子銅山の銅の精錬技術と歴史―